

「神戸新聞の授業で学んだこと」

今日ぼくは、あまり見ることのない新聞について教えることになった。

神戸新聞には、トピ・カタ・ヘソ・関連・コラムといふように、^{もとも}とも、重要な事からを大きくとりあげたり、その文を支える ^{種類分けされ}種類分けされた

ことがらを小ぶりに書いたりして分かりやすく書かれていて、読みやすいのだらうと思いました。

ぼくは、家で新聞をとっていません。けれど、神戸新聞は読む人が、読みやすく、見やすくなる工夫が、取材がそれをまとめる作業印刷などの様々な手順などがはさまって

つま、これによってすばいと思いました。これからはがんばって作ってほしいです。

「神戸新聞の話を聞いた感想」

ぼくは、この話を聞いて、「すごいな」「なるほど」と思ったことが二つあります。一つ目は、写真のとり方です。ぼくは記事の写真を見て、「すごい雰囲気の出ている写真だな」とただ思っただけだけど、「三分割法」「三角構図」「対角線構図」という方法を使っていることを聞いて「さすがだな」と思いました。二つ目は、5W1Hのことで、これを見て、「なるほど」と思いました。

「神戸新聞出前授業を通して」

新聞を作る時に事件があった所へ行って、どのようなことかあ、たかをきく、や「大事なことから書く(逆三角形)の記事だから、前文に「SWIHも見出しになる言葉も原則としていれる」や「見出しと前文(リード)を読むだけでおおむねの内容が分かる。読み進めるとさらに詳しく分かる様にする。」や書き出す前に仮見出しを考えると、前文(リード)を容易に書く。テーマに常に言(

言散しなから書進めることを記者になったら大事なことを
ワザでやりたいです。

「神戸新聞出前授業の感想」

初めて知ったことは新聞の特ちょう、インタビューのくわしいしかた、取材ノートの使いちなどです。

授業の感想は、本物の人が生の言葉でくわしい説明、解説。そして何よりやさしく、おもしろい話し方なのがよい所です。もっと知りたい事は、1日のスケジュール、インタビューの時の話し方で気をつけていること、これは絶対にする事などです。



「新聞のことについて、知ったこと」

わたしは、最初は、新聞のことは、ぜんぜん知らなかったけれど、新聞には、「トップ」「カク」「ペリ」と分かれていることや、「逆三角形」や「5W1H」ということも、インタビューをとるときには、下調べをして、あらかじめ3つぐらいの質問を決めてインタビューすること、幼想的な言葉は難しいけれど、ディテールの描写とニュース性や背景の書き込み、物事の言い換えて文章を豊かにすることができるといふことが分かりました。今まで知らなかったことが分かってよかったです。読みたいくなりました。

「神戸新聞のみりよく」

ぼくが神戸新聞の中で、尋に強いのみりよくがあった所は、これを読んだ人たちのことをとてもよく考えている所だと思いました。なぜなら、読んだ人がこうなるだろうとこまかい所まで考えるところが、もしやりががあっていいと思ったからです。神戸新聞のみりよくが、わかることが、できる自分も歩前に進めたと思います。

「新聞をもっと身近な感覚に」

私は、新聞を読むことが少なかったです。でもこの新聞教室で、今まで不思議だった新聞の配置のデザインことや気にしてこなかった新聞が完成するまでの事や見出しの工夫を知って、これからはと新聞を身近な感覚にしたいと思いました。また、全く知らなかった記者の人のインタビューの事も、私は、記者の仕事は、インタビューだけでいいイメージがなかったです。でも実察は、下調べをしたりと、大変なことがわかりました。新聞は、()
むずかしいイメージだけど今は新聞を知りたいと思います。

「新聞が作られるまでの苦勞と楽しみ」

今日は、新聞の授業で、『神戸新聞が』できるまでの、ことがいんしょうに残りました。

大雨がふって、メモが全部ながれてしまっても、記おくかがよくてよかったです。

でき上がった時の達成感もあるのではないでしょうか？

兵庫県出身の有名人が多くてびっくりしました！
「有名人に会いたいから」と、()

いう理由も納得です 😊

「読んでみたい気持ちになった 新聞教室PO」

私はこの新聞教室でたくさんのお話を学びました！新聞記者は記者会見に行ったり市役所に行ったりするだけだと思っていたけど、災害現場にも行ったりすることを始めて知りました！新かたコロナウイルスの記事がタタいときに50本もあるのかととてもびっくりでした。ほかにも三角構図や見出しと前文でほとんどの内容が分かるようにしていたり、いろいろ工夫しているすごいなと思いました！私は新聞をあまり読んだことがなくて、文字タたいしむすかしそうと思っていた（）

けど今日いろいろ教えてもらって読んでみよう！という気持ちになったので読んでみたいと思います！

「新聞の技術」

写真を撮る時も種類貞があることを知って、特に「三角構図」としてその写真貞味をだす撮り方があるということが分かったし、あとちょっとでも文字がかけると、勘違貞誤解を生むからしっかりとチェックしてまひまかけて新聞を作るのは初めてした。

新聞を作るのにこんなに技術貞が必要なんだなと思いました。インタビューする時に、どんなことを聞くのか。（）

「新聞の写真の工夫」

私は新聞の写真の工夫があることを初めて知りました。

例えば、撮り方。撮り方には雰囲気の良い写真になるために「三分割法」「三角構図」「対角線構図」の3つの撮り方があります。他にも「テーマに沿ったものをいろいろ入れる」などもよい写真の撮り方です。

このように新聞の写真の工夫があることを知り、細かい工夫があり、すごいな。 ()
と思いました。

「新聞教室を体験して」

私は、今日新聞教室を体験して、私は新聞が家でとっていなかつたから新聞のすごさを知らなかつたけれど、新聞を作るための工夫や、すごさを知る事が出来ました。たとえば、記事の書き方だったり、W/Hなど、いつどこでた物が、何をなぜ、とどのようにという意味を知らず、そのような工夫が、あって新聞だけの工夫だと思いました。

かにもインタビューの時間は、少なかつたのに、新聞に書く文章をまとめられていて、すごいな〜と思いました。家遊や友達と、これから最近のできごとについて話したいと思いました。 ()

「 私たちのために… 」

「5W1H」とはなんだろう。私は全く分からなかった。まさかニュースの基本だとは思ってもなかった。私は一度「新聞記者になりたい。」と思うことがあった。きっと、かっこいい俳優さんとか、かわいい女優さんに会えると思っていたからだ。でも、こんなレイアウトや、ニュースの内容が大変だとは思ってもなかった。「5W1H」もその内の一つだ。読者のために分かりやすく新聞を作っている記者さんたちに改めて感謝した。そして、あこがれた。

()

「新聞が」できるまで… 」

僕は新聞紙専用の紙があることを初めて知れてよかったです。

僕は新聞が「できるまで」に、たくさん作業があることを知れてよかったです。写真のとりかたを知れてよかったです。僕は新聞の良さも知りたいです。あと新聞は、写真や文だけで情報を伝えてほしいと思います。

()

「新聞について知ったこと学んだこと」

私は、新聞について授業して初めてしたこと
がたくさんあって、「新聞ができるまで」が一番
感心し、おもしろいしくみがありました。

ほかにも、写真のとりかたで、キレイに美しくとる
には「三角構図」や「対角線構図」のとりかた

でとるといふのを知ってそんなとりかたがあつた
と知りました。新聞について新しく知るとなんだかす
きりました。も、とくわしく新聞（

）
のことについて知りたけいと思ひました。

「新聞の特ちょう」

ぼくはなんで見出しをかかかないとだめなのか不思議
でした。でも見出しがなないと男と男がけ、こん？、また
いになるから見出しは必要だと思ひました。

神戸新聞の授業での感想は、新聞は、トップ
は知らていたけどカタやヘリはしらなかつたので
「こんなにわけているんだな」と思ひました。

不思議に思、たけどなぜ最後にチャンネルがあるの
か不思議に思ひました。（

「新聞教室の感想」

有名人にあいたい気持ちもあるから
新聞^がしゃもりりかたとおもしろい
きゅうに全子のはまき^がかしこ
にみえたけど三好さんはお
ていたのでとてもすじいと思
いました

「新聞教室」

三好さんが11人な有名人に会っているの
おもしろい
見出しのこで見出しは一番上や一番自
分のこで置くという工夫があるのが分
たのこで上から下へ。方にもカタハソを
いとおもしろい

「みよしさん」流の新聞道

みよしさんがおしえてくれたのは「5W1H」
「逆三角形(対角線)」「表現の仕方」
「くちまう」「見だしについて」「くちまの使い
方」をおしえてくれた。おビツのニュー
ズが「きたら」かえなくてはいけ
ないのが「まじい」。